はじめに……7

序　章……明治天皇を読む……25

第一部　近代天皇と国家儀礼

第一章……孝明政権論――将軍の上洛と国家儀礼の再編成……48

1　近世国家「センター」の崩壊……50

2　将軍家茂上洛の歴史的意義……56

3　「孝明政権」の成立と展開……66

第二章……天皇の権力――国家儀礼としての「五ヶ条の誓文」……86

1 国家儀礼としての誓祭……88
2 天皇と「王政」……97
3 誓文の五ヶ条……110

第三章……明治天皇の外交……123
1 主権と儀礼……124
2 天皇と外務……133
3 飾りと身体……136

第二部　近代神社・神道の祭祀と儀礼

第四章……近代神道の創出——神仏判然令が目指したもの……146
1 津和野派イデオローグの登場……149
2 明治初年の官僚と社寺行政……160
3 一地方神職の動向……166

第五章　神道の可能性と限界——大国隆正の神道論……180
1　開港期の大国隆正——神道普遍性の限界と「可能性」……184
2　攘夷最盛期の大国隆正——天主教の邪教と正教……188
3　維新期の大国隆正——「西の国の神道」……194
第六章　神社と祭りの近代——官幣大社日吉神社の場合……206
1　山王祭のダイナミズム……208
2　江戸以前の山王祭……215
3　明治と近代山王祭の成立過程……230
付　論　靖国——戦後の天皇と神社について……263
あとがき……285
索引……295